

今どきの学生の主張 イマガクフェスタ

10分間でプレゼン

武蔵野大、高知大とも交流



▲優秀賞「Brash UPゼミナール」代表の左から磯野くん、板倉さん、今和泉くん（音楽も担当）



▲WAKUWAKU賞の河瀬君と審査員の原田博夫就職指導委員長（左）池本正純学生部長（右）

「イマドキの学生」の主張を10分間でプレゼンする『イマガクフェスタ』が6月20日、生田キャンパスで15組が参加して行われた（結果・参加者は下のとおり）。

テーマは経験に基づいた恋愛観から大学の授業改善案まで多岐にわたり、表現方法もさまざま。審査員賞の阿部美香さんは「父を亡くした悲しさから抜け出せず、鬱屈した思いを抱えていた時にこの企画を知りました。気持ちを整理しようと参加しましたが、今日は思いを皆さんに伝えることが出来ました」とスッキリした表情で話した。

企画から審査員の手配、運営まですべて学生の手で行った『イマガク』。同様の催しを行っている武蔵野大の学生が当日スタッフ・発表者として参加してくれた。遠く高知大から特別参加した中邨くん和村田くんペアは迫力あるプレゼンで会場を沸かせ、大学を超えた交流の場にもなった。

懇親会で審査員の鈴木賞子さん（人事コンサルタント・大学非常勤講師）は、『プレゼン』とは人の心を動かすこと。伝えるだけでなく、相手に伝わって初めて成立するものです。今回をきっかけに自己表現力をさらに

磨いていってください」と激励した。

スタッフ代表の埜雄一郎くん（法3）は「昨年の講座実施の反省を基に、募集方法を工夫し、ゼミ連やHEIB講座の協力を得て、予想以上の参加者でした。当日駆けつけてくれた高知大の池田啓実教授をはじめ、出会った多くの方々にパワーをもらい、成長できたと思います。苦勞が吹き飛びました」と話した。

イマガクフェスタ2004入賞者（敬称略）

賞	氏名・学部・学年	タイトル
優秀賞	磯野 勇樹（法1） 板倉沙織（経済1） 今和泉隆行（文1）	僕らにとって魅力ある企業とは・・・
優秀賞	高崎 麻由子 伊藤 麻紀子（武蔵野大学3）	緑色の・・・「飲みたくなってください」
特別賞	間瀬陽介（商3）	大学改革プラン2004
審査員賞	阿部美香（文3）	輝いて生きるとはどういうことか
WAKUWAKU賞	河瀬信幸（経済3）	オレのコンビニ人生

参加者名（エントリー順）：加藤翔（経営2）、古川仁（経営1）、大谷祐子（法3）、富山徳子/トン ジョユイン（経済2）、穂山健太郎（経済3）、大西雄毅（商2）、君島佑（文2）、古

田土勝彦(文1)、内藤加奈子(文3)/渡邊こよい(経営3)、【特別参加】村田健太郎/中邨悠(高知大学)

【ニュース専修2004年7月号11面】

県人会 北から南から ー特別版ー

第38回川島正次郎杯争奪野球大会



▲連覇を果たした「Tin」

6月2日から約1ヵ月間にわたり、100チームが熱戦を展開した第38回川島正次郎杯争奪野球大会(多田正平実行委員長・商4・北海道苫小牧東高)。決勝戦は6月30日、あいにくの雨の中行われ、「Tin」が9-6で「リザーブ」を降し、2年連続でトーナメントを制した。

第23回フレッシュマンキャンプ



▲アウトドアで親睦を深める

第23回フレッシュマンキャンプ(トータルリーダー=斎藤孝一郎くん・文4・群馬県前橋東高)は、山梨県の「浜の家キャンプ場」で6月25日から2泊3日で開催された。1年次生と連県本部役員ら89人が参加し、キャンプファイヤーやスポーツレクリエーションなどを楽しみ、交流を深めた。

【ニュース専修2004年7月号14面】

英語力をつける読書ガイド

第3回

TOEIC(R)テストのツボを押さえる

三浦 弘(文学部教授)



『TOEIC(R)テストパーフェクト英文法攻略』(高橋基治著、コスモピア刊、2003年刊、1200円)
『TOEIC(R)テストボキャブラリー超頻出600』(2004年刊、1300円)

英語力をつけるために検定試験をペー
スメーカーにして勉強している人は大勢
いると思います。皆さんはどんな参考書
や問題集で勉強していますか。検定試
験には必ず出題傾向というものがあり

ます。スコアの信頼度を保つためです。最良の対策は過去の問題を分析して、解答の
コツをつかむことですが、過去の問題が公開されていない場合、参考書に頼るしかあり
ません。本屋には多数の参考書が並んでいるので、気に入ったものを買ってきても、そ
れが単に形式だけ検定試験をまねていて、中身は不適切なもの、ということが現状で
は当然予想されます。

大学生がより良い就職に備えて、スコアアップをめざすTOEIC(R)テストでは、英語が
出来る人も出来ない人も、リーディングセクションのスコアがあまりよくありません。そ
れはその試験の「罠」というか「落とし穴」にはまってしまうからなのです。同テストの文法
問題はととても単純です。しかし、付随する修飾語が多いので、文が長くなり、惑わされ
てしまうのです。出題の意図を読み取ろうという意識を持つことが大切です。また、検
定試験にはその試験に頻出する語彙(ごい)というものがあります。単純に語彙力を問
う問題も多いのです。出るものは単語カードでも作って、すべて暗記しておく必要があ
ります。頻出単語を覚え、文法問題出題の意図が分かれば、リーディングセクションで
は、ほぼ満点が取れるのです。このことに気づいてください。ここで推薦する本を筆者
の授業で紹介したところ、多くの学生が短期間で、100~200という大幅なスコアアップ
を果たしました。

【ニュース専修2004年7月号11面】